

県政だより

あきた 新時代

9 2003
月号

平成15年9月1日発行 第96号)

[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570
秋田市山王四丁目1番1号
☎018(860)1073
FAX 018(860)1072
sinjidai@pref.akita.jp

「攻めの健康づくりで 生活習慣病を撃退

厳しい中でも機動的な財政運営を
早い時期から職業意識を



お父さんと遊ぼう！

湯沢雄勝広域交流センターで開かれた「パパと遊ぼうげんきっこ」

肩車や相撲など、お父さんならではのダイナミックな遊びを、子どもたちに楽しんでもらおうと、湯沢市の子育て支援センター「すこやか」が行っているものです。

飛行機遊びに、子どもたちも大はしゃぎ。「お父さん、もっと高く上げて！」

「攻め」の健康づくりで 生活習慣病を 撃退

健康は
病気でないこと
とは違います

近年、「健康」への皆さんの関心が高まっています。昨年の北海道・北東北知事サミットでも「健康」が大きなテーマになり、アクティブな生活を通じて本来人間が持っている生命力を呼び覚ます「21世紀型の健康」を目指すことなどが話し合われました。

今、私たち一人ひとりが生活を見つめ直し本来の健康づくりに挑戦する時です。

忍び寄る生活習慣病

県民の60%以上が、がん、脳卒中、心臓病などの生活習慣病で亡くなっています。

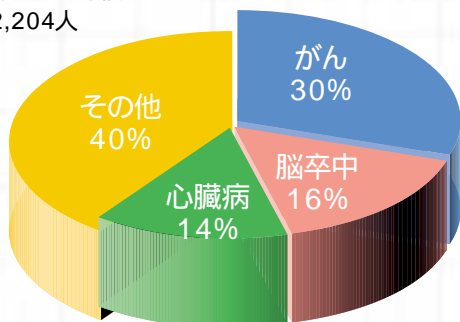
生活習慣病はその名のとおり、不規則、不摂生な生活が積み重なって発症する病気のことです。自覚症状が出るまでに時間がかかり、気がついたときには深刻な症状になっていることが多いという怖い病気です。

そのため、健康を損なうような日ごろの習慣を見直すことが、予防のポイントになります。

県は、平成13年度に「健康秋田21計画」をつくり、県民一人ひとりが生活の中に運動を取り入れるなど、健康づくりに積極的に取り組み、生活習慣病を克服できるようにさまざまな支援をしています。

主な死因の割合(秋田県)

～平成14年人口動態調査より～
死亡数 12,204人



スポレクフェスタあきた エアロビック 秋田大会

町をあげて健康づくりにチャレンジ～金浦町～

普段何気なくやっていることでも、目的意識を持ち、それを継続することで立派な運動になります。

金浦町では、平成14年度から世界的なスポーツイベントであるチャレンジデー()に参加しています。

チャレンジデー

毎年5月の最終水曜日に行われ、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して運動をした住民の参加率で競う。県内では琴丘町が平成7年から参加している。

住民の90%が参加

今年のチャレンジデーは5月28日に行われ、金浦町では実に住民の90%、4,581人が参加しました。野球やバドミントン、ゲートボールなどのほか、普段は自動車で出かけている買い物を歩いて行くという「買い物deウォーキング」など、気軽に参加できるメニューをそろえていた



金浦町南極広場でグランドゴルフ

のも参加率が高くなった理由のようです。

このイベントを担当した金浦町の小柳伸光・社会教育課長は「町制100周年をきっかけに町民の健康づくりのため何かをしたいと、昨年初めて参加しました。一カ所に集まらず、自由な時間に、できる場所で行える点が現在のライフスタイルにあっていると思います。運動の習慣化のきっかけとなってほしいですね」と話していました。



金浦町 小柳課長

金浦町では十数年前から勢至公園のまわりを歩こう、ジョギングしようという活動を続けており、各人ができる時間に、できる場所で歩いた距離や時間を記録して、月に1回はその仲間が集うというウォークラリーを行うなど、健康づくりのための活動がますます盛んになっています。

このイベントを支えるスタッフ紹介



齊藤優さん

思いきり体を動かすことは気持ちいいですよ。こういう住民の輪をもっと広げていきたいですね。

集計は大変だけど、参加者から満足感、達成感を持っていただけるので、やりがいを感じます。



須田彰子さん

スポレクフェスタあきた

県民の皆さんが、スポーツやレクリエーション活動に参加できる機会を提供しようと、県内各地でさまざまな種類の大会が行われます。

今年はサイクリング、エアロビック、綱引きなど33種目について、38会場で計画されています。

7月21日には、矢島町で種目別大会の一つとして登山教室が開かれました。



鳥海山遊登山教室

われら健康づくりチャンピオン

健康づくりは、一人よりもグループで声をかけ合って取り組んだ方が効果があるということで、県民参加型の運動として県が進めているものです。

3人以上のグループで、食生活、運動、たばこなどのテーマから1つ選び、健康づくりのための具体的な生活習慣の実践を宣言し、60日以上実行してもらおうというものです。

昨年度は148グループ588人の応募のうち、128グループ507人が最後まで成し遂げ、県から健康づくりチャンピオンとして認定されました。

現在チャンピオンに挑戦中!

目標「ウォーキングで、足を鍛え、体を締めて、浴衣を粋に着て夕涼みに行こう！」

毎朝6時ごろからメンバーが集まり約30分歩きます。

最初の1週間は辛かったです、1ヶ月ほどで体が軽く感じられるようになりました。家族からは早朝井戸端会議などと言われていますが...



「なでしこ」(秋田市)

工藤八重子さん(左)
小林ミヤ子さん(中央)
石沢礼子さん(右)

昨年度のチャンピオンから体験談をうかがいました。

目標「いきいき野菜で食生活を楽しく」

4人のメンバーで苗や種の交換をすることなど工夫をこらし、自給野菜の種類を2倍に増やすことができました。「がそろそろ食べごろだね」などと家庭内の会話も増えたほか、健康診断の結果、血圧が落ち着き、高脂血症の数値が下がったという人もいます。



「四ツ葉会」(太田町) 小松くみ子さん(左) 芦野節子さん(中央)
佐々木よし江さん(右) 田口八代子さん

目標「たばこの本数を減らす」

職場の同僚3人で参加。メンバー各自が車の中の灰皿を取り払い、禁煙用のドロップを口にする、飲み会では吸わないなどに取り組み、本数が確実に減少しました。



禁煙への道のりは厳しいですが、がんばりたいですね。

「ほじなし会」十文字町

佐々木真さん(左)
小松寿さん(中央)
堀田恵作さん(右)

今日から実行！ 生活習慣病予防一口アドバイス

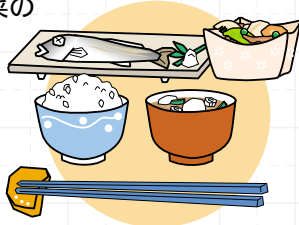


小笠原真澄院長

大湯リハピリ温泉病院・小笠原院長にうかがいました。

1 食生活で注意することは？
栄養・食生活は、ガンや脳卒中などの生活習慣病に深く関連します。その人にとってバランスの良い食事をとることが大切です。

一般的には穀類などの主食、魚・肉・大豆製品などの主菜、野菜・果物などの副菜を組みあわせ、1日のエネルギーを炭水化物60%、タンパク質15%、脂質25%程度の割合で一日3食朝・昼・晩にきちんととることです。自分の健康状態を知り、自分にあった食生活を実践することが大事です。また、日本人が食べる野菜の量はここ10年以上減少し続けていますが、1日に野菜を350グラム、果物を200グラム程度はとるように心がけたいものです。



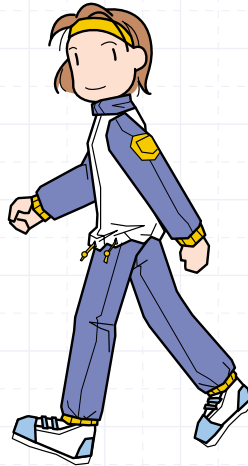
2 野菜を多く食べることで予防できる病気

野菜を多く食べることにより、ガンや動脈硬化、こうじりっしょう高脂血症、糖尿病、高血圧症などの予防に役立ちます。

野菜に含まれる栄養素が次のような働きをするためです。

- ビタミンE 万病のもとといわれる活性酸素の働きをおさえる(トマト、ブロッコリーなど)
- ビタミンC 発がん物質の発生をおさえる(キャベツ、小松菜など)
- カリウム 血圧を上昇させるナトリウムを少なくする(かぼちゃ、ホウレンソウなど)
- 食物繊維 コレステロールや脂質の吸収をおさえて腸の中をきれいにする(ごぼう、さつまいもなど)

また野菜を加熱する場合でも、例えばカリウムなどはスープにして飲むなどの工夫をすれば栄養素を損なうことはありません。



3 ウォーキングの効用

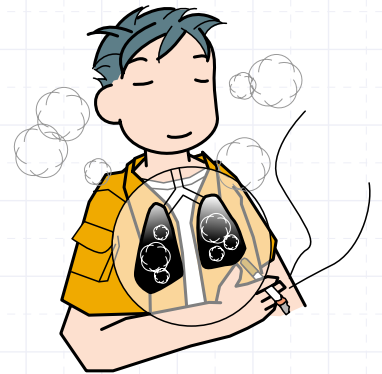
ウォーキングは、心肺機能の調整や足腰の筋力の維持、運動することによる体重のコントロール(肥満の防止)に効果があります。

姿勢をよくして、大腿で歩くことが基本。かかとから着地し、つま先で蹴って、少しきついと感じるスピードで歩くとう�효的です。

4 喫煙の体への影響

厚生労働省がまとめた結果(平成14年度)では、たばこが原因となってガンや心臓病、脳卒中などで早死にする人は年間約10万5千人にのぼるとされています。

もちろん肺機能の低下や血行不良にも結びつきます。



健康秋田21計画推進県民大会 テーマ「広げよう つなげよう 健康づくりの輪！」

期日 10月5日(日) 会場 大館市 秋田桂城短期大学(シンポジウム)・ジャスコ大館店(けんこう屋台村)
どちらも入場無料

健康秋田21計画推進シンポジウム

- パネルディスカッション (12:30~13:35)
- 講演「健康は笑いから」
- 講師 三笑亭夢之助さん (13:40~14:40)
- われら健康づくり
- チャンピオン体験発表 (14:50~15:50)



三笑亭夢之助さん

けんこう屋台村 (10:00~18:00)

「ヘルシー料理」
「ハーブでストレス解消」や「疲れをとるつぼ」のコーナーなど、健康づくりに役立つ情報が盛りだくさんです。



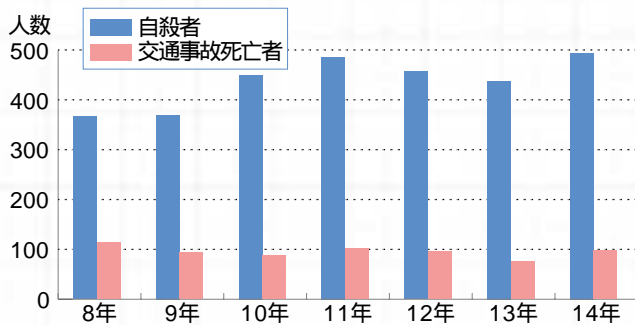
大勢の人でにぎわうけんこう屋台村

無関心じゃいられない 自殺者は交通事故死亡者の5倍です。

日々のニュースで交通事故について報じられているのをよく耳にしますが、実は県内では交通事故死亡者の約5倍にあたる494の方が自殺で亡くなっています(平成14年)。自殺により尊い命を失うことは家族やまわりの人たちにも、大きな悲しみや苦しみをもたらします。

6月号で自殺と関連が深いといわれるうつ病への対応などについてご紹介しましたが、今回は引き続き自分で分かるうつ病の症状や、あなたの悩みを受け止めてくれる相談窓口などをご紹介します。

自殺者数と交通事故死亡者数(秋田県)



こんな症状に心当たりはありませんか ～うつ病のシグナルあれこれ～

こころの症状

気持ちが沈む
やる気が出ない
物事を決められない
考えがまとまらない
不安でイライラする
悲しい
興味や関心が持てない

こんな症状があったら
かかりつけ医や保健所に
相談してください



身体の症状

疲れやすくなった
体全体がだるい
頭痛・肩こり
眠れない
食事がおいしくない
息切れ・どうき
便秘

ひとりで悩まず早めに相談を

皆さんの悩みや苦しみの相談に応じる「心のセーフティネット」から、主な相談窓口をご紹介します。

本人だけでなく、家族などまわりの方からの相談にも応じています。

- こころ**
 生きているのがつらい。自分はたった一人だけれも相談相手がない。寂しい。夜が怖い。
いのちの電話
 TEL 018-865-4343
 孤独や絶望感など心の悩みの相談
- 経済・暮らし**
 会社が倒産しそう。みんなに迷惑をかけてしまう。倒産した会社の残務整理が大変だ。
蜘蛛の糸
 TEL 090-9032-9197
 会社が倒産した、あるいは倒産しそうだという中小企業主からの相談
- 経済・暮らし**
 借金の返済が滞り、金融会社からの取り立てが厳しくて困っている。返すあてのない借金のこと頭がいっぱい。
貸金業協会
 TEL 018-863-1732
 多重債務者への貸金禁止依頼など、金融に関する相談
生活センター
 TEL 018-835-0999
 不当な方法で高額な商品を買わされたなど
- うつ病**
 家族にうつ病と思われる症状がある。自分はうつ病ではないか。
精神保健福祉センター
 TEL 018-892-3773
 心の健康全般についての相談
- 子育て・虐待**
 子どもがふさぎ込んでいる。子どもが学校に行かなくなった。
中央児童相談所
 TEL 018-862-7311
 子育て、虐待など子どもの悩み相談
- 高齢者**
 自分は年寄りで、家族に迷惑をかけていると思うと辛い。もっとみんなの役に立ちたい。
シルバー110番
 TEL 018-829-4165
 お年寄りが抱える悩み

このほか、「心のセーフティネット」に参加している16分野39の相談窓口は、インターネットでご覧になれます。
<http://www.pref.akita.jp/eisei/news/safetynet.html>

厳しい中でも 機動的な 財政運営を

秋田県の財政は
大丈夫なの？と
いう質問にズバリ
お答えします



大胆な改革で 厳しい状況をのりきります

景気の低迷が続く中で、県の税収はここ数年大幅に減少し、県の財政は厳しい状況にあります。

その一方で、高齢化社会などの影響が大きい福祉関係費や中小企業などを支援する商工費など、県民の生活に欠かすことができない経費や、過去に整備した公共施設の借金の返済などは、税収が減ったからといって直ちに削減することが難しくなっています。

県は、こうした状況に対応するため、「行政改革推進プログラム」などにに基づき、職員数の縮減や徹底した行政コストの削減を進め、財政の健全化に向けたさまざまな取り組みを行っています。

平成10年から22年までに職員数を15パーセント減らすとともに、市町村合併の状況を踏まえ、将来的には3,500人体制を目指します。

この5年間で7.5%削減しました

(知事部局職員数 H10:4,819人 H15:4,458人)

これまで、
時間外勤務手
当の30%縮減、
県単独補助金の20%削減、
物件費の20%節減、
公共工事のコスト10%縮減などに取り組んできました。

この結果、平成13年度には決算に占める人件費、物件費の割合が全国で2番目に低くなりました。

また、財政の健全性を示す経常収支比率()は、87%で、東北の中では一番低く、全国でも低い方から16番目となっており、これまでの行政改革の成果が着実にあらわれています。

経常収支比率

県税や地方交付税などの経常的な収入が、人件費・扶助費・公債費などの経常的な支出にあてられた割合。比率が低いほど弾力的な財政運営が可能になります。

経費を節減して借金を計画的に 返済しています

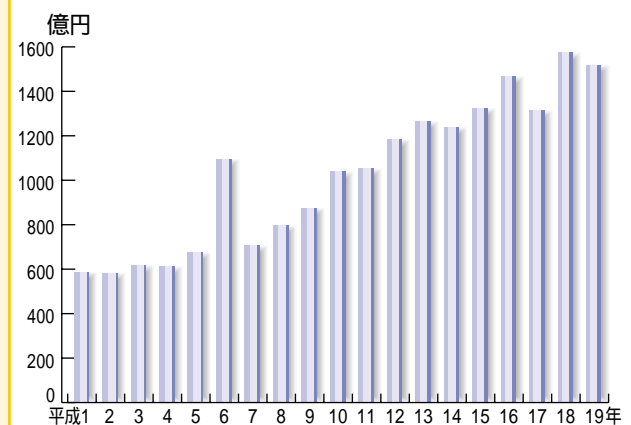
これまで高速交通体系や研究機関、県立大学や福祉医療施設、さらには平成19年国体に向けたスポーツ施設などの整備を進めてきたことから、借金残高は全体として増えており、借入先の国や銀行などに支払う元金や利子(公債費)も増加していますが、そのピークは平成18年と考えています。

平成13年度の決算の公債費負担比率()は26.6%で、全国では高い方から3番目となっていますが、経費の節減やこれまで積み立ててきた貯金(減債基金)などの活用により、計画的に返済しています。

公債費負担比率

一般財源のうち公債費(借金の返済)にあてられた割合で、この比率が低いほど借金が財政運営に与える影響が小さいとされています。

公債費の推移



当初予算ベース、H16~19は財政の中期見通し
(平成15年2月公表)による。

実質的な借金を増やさないようにしています

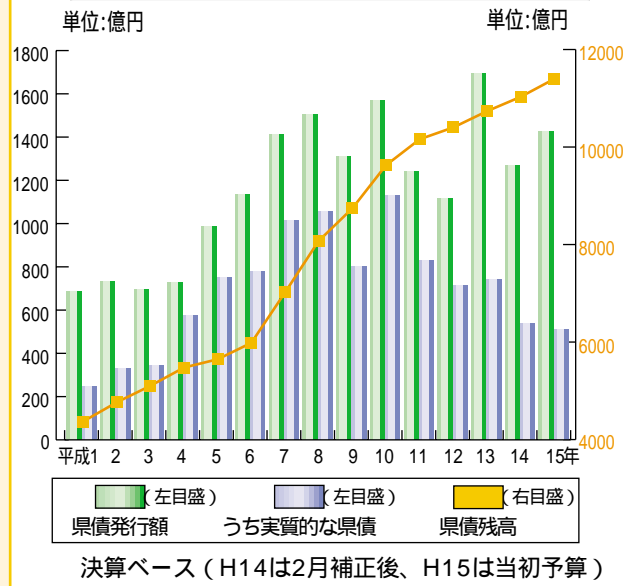
県の借金である県債の発行額は、平成6年度以降1,000億円を超え、13年度には約1,700億円とこれまでの最高となっています。ただし、これは「臨時財政対策債()」など名目上の借金が増えているため、その分を除くと11年度以降は大幅に減少しており、実質的な借金残高は増えていません。

また、これ以上借金を増やさないう、実質的な県債の発行額を予算額の10%以内(臨時財政対策債などを除く)に抑えるようにしており、今年度の発行額は約500億円で、予算額の約7%となっています。

臨時財政対策債

国の財政状況の悪化により、本来国が地方に払うべき交付税の一部を後から払うという約束で、一時的に地方の借金に振り替えたもの

県債発行額、県債残高などの推移



貯金を計画的に活用しながら健全な財政運営に努めます

今年2月に公表した秋田県財政の中期見通しでは、平成19年度までの歳入の不足額が毎年120~160億円程度になることから、18年度中には県の主要な貯金である「財政調整基金」「減債基金」「地域振興事業基金」の3基金が底をつくことも想定されました。

しかし、予算の執行段階でさまざまな工夫をしながら支出の節減に努めた結果、14年度は150億円を積み戻すことができました。

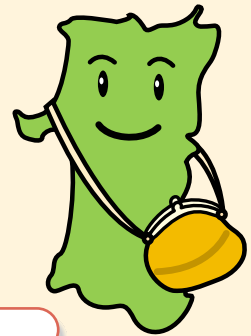
貯金がなくなり、しかも決算段階で一定以上の赤字(本県の場合は170億円程度)が出た場合は、赤字再建団体に指定され、財政の自主的運営

財政の中期見通し(平成15~19年度)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
歳入	7,005	6,977	6,611	6,704	6,539
歳出	7,200	7,144	6,734	6,844	6,697
収支不足額	195	167	123	140	159
基金残高	399	233	109	31	190
基金残高(現時点の見込)	549	382	259	119	40

150億円の積み戻し後

が大幅に制約されることとなりますが、自らの意思で財政をコントロールできる状況を維持するためにも、一層計画的な財政運営に努めていくことにしています。



行財政改革を進めながら必要な施策は積極的に展開します

本県の財政は、このように厳しい状況にあるほか、国が進めている「三位一体の改革」(国庫補助負担金の削減、地方交付税の改革、国から地方への税源移譲)の動向によってはさらに影響を受けることが予想されます。

こうした状況にあっても、秋田県の未来を切りひらいていくためには、経済・雇用対策、少子・高齢化対策、人

づくりや国内外との交流促進など、今やらなければならないことにしっかり取り組んでいかなければなりません。

このため、今後とも人件費を含む固定的な経費の縮減に努めるほか、予算編成システムそのものを見直しながら施策・事業の重点化を一層推進するなど、徹底した行政の効率化と機動的な財政運営を行うことにしています。

早い時期から 職業意識を

増えている、高卒者の早期離職

厳しい雇用環境の中で、学校を卒業しても就職できない人が増えている一方、就職してもすぐに辞めてしまう人が多いということも大きな問題となっています。

県内の高卒者で、1年以内に仕事を辞めた人の割合は27%、3年以内の割合は実に51%となっています(ちなみに大卒者は3年以内で46%)。

こうした中で、高校生が職場で実際に仕事を体験する「インターンシップ」や、就職希望先を1人3社まで応募できる「複数応募制」などの新しい試みも始まっています。

今回は、早い時期から将来の職業への関心を持ち、就職活動に役立てようとする高校生の活動や、それを支援するさまざまな取り組みを紹介します。



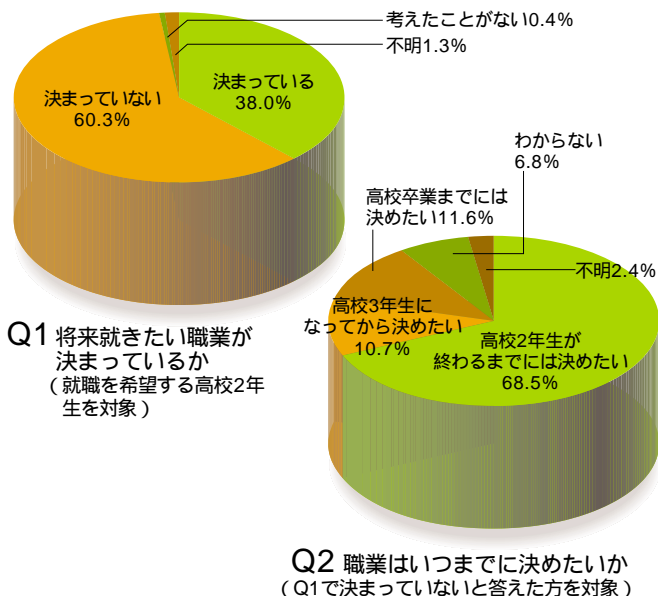
高校生の就職戦線もスタート

適性より雇用条件を重視する高校生

県は、就職を希望する高校2年生を対象に、仕事や職業に対するアンケート調査を実施しました。

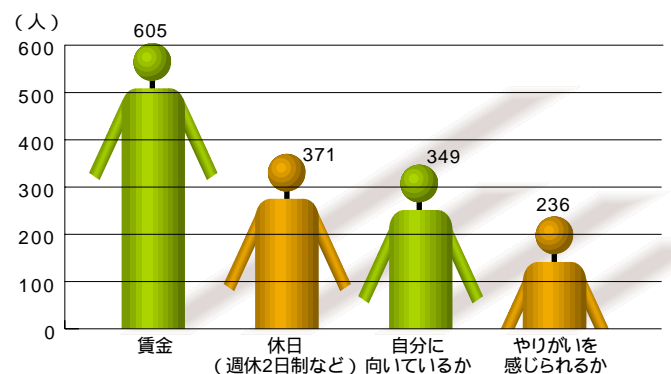
将来就きたい職業が決まっている生徒は、約4割にとどまっていますが、まだ決まっていない生徒の約7割も、3年生になるまでには決めたいと答えています。

また、職業や就職先を選ぶ際は、「自分に向いているか」より、「賃金」「休日」を重視する生徒が多くなっており、自分の職業適性よりも雇用条件を重視する傾向が強くなっています。



職業や就職先を選ぶ際に重視したいこと

(就職を希望する高校2年生969人から回答、複数回答あり)



就職の強い味方

秋田市御所野にある「フレッシュワークAKITA」は、若い人たちの就職をサポートする心強い味方です。パソコンを使った職業適性診断や仕事・就職の悩みごと相談など、たくさんのメニューを用意し、毎日多くの方が訪れています。「フレッシュワークAKITA」の滑川準治室長は、「多いときで1日150人ぐらいの方が、職業相談に訪れます。今は、希望が多い職種の求人が少ないこともあります。自分が本当にやりたい仕事についてよく考えないで就職することも、早期離職者の増加につながっていると思います。

若い人には、職種を限定してしまわないで、幅広い視点から自分にあった仕事を見つけてほしいですね」と話していました。

自分に向いている職業を診断

7月9日、横手工業高校の生徒が「フレッシュワークAKITA」を訪れ、職業適性診断を体験していました。

これは、自分の能力や職業への興味、仕事に対する価値観、自分の行動の特性の4つの側面から、自分に向いている職業などを診断するものです。



パソコンにデータを打ち込む
横手工業高校の佐藤真澄さん

モノづくりが好きなことから、製造業への就職を考えていましたが、職業適性診断の結果は、「犬の訓練士」や「駅員」など希望とは違う結果に。「診断結果は予想外でしたが、就職先を考える上で参考になりました。これから就職活動の本番なのでがんばりたい」と、気を引き締めていました。



横手工業高校で進路指導を
担当する奥保雄先生。

「ここ数年、パートやアルバイトを採用する会社が増えていきます。工場などを海外へ移す会社も増えて、国内で働く場所が少なくなっていますが、こうした状況が改善されない限り、就職難は続くと思います。

それだけに生徒にはこうした体験をとおして、今までわからなかった自分を見つけ、職業や就職への意識を高めてもらいたい」と、生徒への熱い思いを込めて話してくれました。

インターシップで仕事の厳しさを体験

「本当にやりたい仕事ではなかった」「仕事がつい」。就職して間もなく会社を辞めた人からは、こうした言葉が多く聞かれます。

県は、働くことの大変さ、楽しさを知ってもらうことで、職業意識を高め、早期離職者の増加に歯止めをかけようと、就職を希望する高校2年生を対象に、県内の企業で仕事を体験する「インターンシップ」を進めています。

羽後高校2年生の皆さんも、羽後町や湯沢市内の企業などで、「インターンシップ」を体験しました。

お知らせ

秋田県合同就職面接会
対象 平成16年3月卒業予定の大学・短大・高専・専修学校生など
日時 9月17日(水)午後1時 5時
場所 秋田ビューホテル



右が小坂さん

体験する作業について説明を受ける羽後高校の小坂洋暁さん

コンデンサを製造する羽後町の秋田指月(株)で、コンデンサの端子通しなどの作業を体験しました。「ちょっとしたミスが、大きな事故につながるので、緊張感をもって仕事をしました。

この体験を、これからの就職活動にいかしたい」と、高校生活とは全く違う世界を体験する中で、社会の厳しさを感じたようでした。

小坂さんを受け入れた秋田指月(株)の小松広志さんは、「初めて高校生のインターンシップを受け入れました。品質管理の関係から、簡単な作業を行ってもらいましたが、仕事の大変さは感じてくれたのでないでしょうか」と話してくれました。



データの収集を行う羽後高校の
金生恵昌さん

羽後町役場企画商工課で、町の施設の入場者数、経費などのデータ収集や西馬音内盆踊りの準備作業を体験しました。「看板のチェックなど、盆踊りに携わる役場職員の大変さがわかりました。公務員志望なので、この経験を生かし、自分の町が良くなるような仕事をしたい」と、公務員への就職の思いを強くしたようでした。

金生さんを指導した羽後町役場企画商工課の佐藤康雄さんは、「仕事の早さや正確性に驚きました。公務員の仕事は、自分の仕事の成果が形にあらわれ、やりがいのある仕事です。町のために頑張ってくれる人がはいてきてくれればうれしいですね」と、エールを送っていました。

自分の職業適性をじっくり考えることから

就職難が続く中で、就職後間もない時期に仕事を辞めてしまうことは、自分にとって損失になるだけでなく、企業にとっても大きな負担になります。

職業や就職先は、「就職する時期が来たときに真剣に考えればいい」のではなく、納得できる仕事に就くために、早い時期から職業に対する自分の考えを持つことが大切です。

高校生の皆さん、「なぜ、自分は働くのか」「自分は、将来どんな職業に就きたいのか」について、日ごろからよく考え、家族や友達と話し合うところからはじめてみませんか。

お問い合わせ

県労働政策課雇用対策室 TEL018(860)2333
県教育庁高校教育課 TEL018(860)5168
フレッシュワークAKITA TEL018(826)1735



サ - ス SARSの再流行に備えて

[重症急性呼吸器症候群]

予防には
マスク、うがい、
手洗いが有効

アジアを中心に広がった新型肺炎SARS(サーズ)は、7月5日、WHO(国際保健機関)が最後の感染指定地域であった台湾の指定を解除し、一応の終息を迎えました。しかし、寒くなる冬場に再び流行する可能性もあることから、症状や予防法などの正しい知識を身につけて、SARSを予防しましょう。

Q1 原因と症状はどういったものですか？

A SARSコロナウイルスを原因とする急性肺炎で、潜伏期間は通常2～7日です。
主な症状は、38度以上の高熱、たんを伴わないせきや呼吸困難で、レントゲンでの肺炎症状のほか、頭痛や食欲不振、全身けん怠感、下痢などの症状も見られます。

Q2 どのようにして感染しますか？

A 主にSARS患者が咳やくしゃみをした時のしぶきを介して感染するとされています。
感染の危険性が高いと考えられるのは、距離2m以内でSARS患者との比較的長い会話や、患者の看護・介護、同居などです。

Q3 冬になるとまた流行するのですか？

A 一般にコロナウイルスは低温・乾燥を好みますので、冬には再流行する可能性が十分にあります。

Q4 予防のためにはどうすればいいのですか？

A WHOから新たに感染流行地域が指定された場合は、その地域には出来るだけ出掛けないほか、マスクの着用や手洗い、うがいを心がけましょう。

Q5 どのような対策が取られていますか？

A 県は、「SARS対応行動計画」を定め、疑いのある患者の診療や医療機関への搬送方法など、その対策に万全を期しています。
7月には、カプセル付きの搬送ベッド「トランジットアイソレーター」を大館・秋田中央・横手の各保健所に配備しました。



トランジットアイソレーター

Q6 SARSが疑われる場合どこに連絡すれば良いのでしょうか？

A SARS感染流行地域から帰国し、38度以上の高熱、咳などの呼吸器症状があるなど、SARSが疑われる場合は、最寄りの保健所へ必ず電話連絡し、医療機関を受診してください。

お問い合わせ 県健康対策課 TEL018(860)1424または最寄りの保健所
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/eisei/news/sars-matome.html>

住基ネットがますます便利に

8月25日から、「住民基本台帳ネットワーク」の第2次サービスが始まりました。

全国どこの市町村でも、住民票の写しを受け取ることができるようになりました。希望する方には、お住まいの市町村で「住民基本台帳カード」が有料で交付されます。顔写真入りのカードの交付を受けた方は、公的な身分証明書としても利用できます。

住民基本台帳カードをお持ちの方は、引っ越しの手続きで市町村の窓口に行く回数が、転入時の1回で済むようになりました。

お問い合わせ 市町村の住民課または県市町村課 TEL 018(860)1142



情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などをご紹介します。

私は国際教養大学を目指しています。「秋田から世界へ」を読んで、ますます勉強をがんばらねばと思いました。(16歳・女性・秋田市)

世間では、共働き家族の出産が注目されています。しかし、専業主婦が「一人っ子だけじゃなく二人目も」と思える県の政策を期待しています。(33歳・女性・本荘市)

春夏秋冬こぼれ話。興味深く拝読しています。昔なつかしい「ガツギの馬っこ」今ではあまり見られなくなりました。(65歳・男性・東由利町)

メルマガ「あ!きた」が発行されたとのことで、楽しみにしています。インターネットに接続していないため、これからチャレンジしてみようと思っています。(75歳・女性・男鹿市)

表紙の写真。皆さんの明るい笑顔がナイスです。子育て大変そうですが、がんばってくださいね。(33歳・女性・山本町)

近年、「食」への関心が高まり、「地産地消」という言葉は県民の皆さんにも定着してきたのではないのでしょうか。今回は、さらに食文化の視点をいれながら「スローフード」についてご紹介します。

Q1. スローフードってなんですか？

A. 1989年にイタリアのブラという町で始まった伝統的な食文化を守ろうという市民運動です。ローマにファストフード店ができたことで、特色がない同じような味が広がり、伝統的な食材・食文化が失われてしまうことを心配した人たちが始めたことされています。

どこでも同じものを素早く提供するというファストフードの考えに対して、「食事や食材、暮らし全体を見直そう」「地域の食文化を守ろう」という運動です。

Q2. 具体的にはどんな運動をしているんですか？

A. イタリアに本部をおく「スローフード協会」では、次の3つの活動指針を定めています。

- 1 消えてゆく恐れのある伝統的な食材や料理、質の良い食品、お酒などを守ること。
- 2 質の良い素材を提供してくれる生産者を守ること。
- 3 子どもたちを含めた消費者全体に味の教育を進めること。

また、秋田にも「スローフード秋田」という組織が今年4月に設立されました。今後、農家の方々との体験交流会やスローフードに理解を深めるためのフォーラムを開催する予定です。興味のある方は、ぜひ参加してください。

Q3. 県はどのような取り組みをしているんですか？

A. 「田舎の味」塾

地域の伝統食や特産品を生かした地域ならではの食文化を伝えるため、「田舎の味名人」による講習会を開催しています。

スローフードセミナー

消費者や生産者の皆さんを対象に、スローフードの勉強会を開催しています。

「みんなで育む地域の食」応援事業

市町村や生産者、消費者などが進める地産地消やスローフード運動に対して、補助しています。



学校給食での生産者との交流

Q4. 秋田のスローフードが目指す方向は？

A. 私たちの住む秋田では、四季折々の生活や行事などとともに食文化が大切に伝えられてきました。「きりたんぼ」や「しょつつる鍋」に代表される鍋物、「ハタハタすし」「なた漬け」「なすの花すし」などの漬物や保存食、さらには「比内地鶏」や「とんぶり」「じゅんさい」「松館しほり大根」、そして地酒…。全国に誇れる食材が数え切れないほどあります。

また、料理方法や食べ方などは県内一律でなく、地域や家庭によって少しずつ違っていたりします。

こうした地域の食文化をもう一度見直してみることが、スローフード運動の第一歩です。



JA秋田やまもとの「グランママスターズ」によるきりたんぼなどの体験講習会

地域の 伝統料理

秋田の農産物は、豊かな大地と清らかな水で育てられ、どれも逸品ぞろいです。そして、特色ある伝統的な食文化がたくさん受け継がれています。地元の食材をいかした地産地消運動とともに、スローフード運動にも注目してみませんか！



3枚笹巻...由利地域



とら皮太巻き寿司...県南地域



けいらん(鶏卵)
...鹿角地域

個性を生かして元気な地域づくり

地域振興局オリジナルプラン

県内8地域に設置された地域振興局は、さまざまな資源を生かしながら元気な地域づくりを目指そうと「オリジナルプラン実践事業」を進めています。その中から今回は北秋田と雄勝の地域振興局の取り組みを紹介します。

北秋田地域振興局
森吉山の自然を守って
魅力をアップ

北秋田地域振興局は、森吉山の自然環境の保護と恵まれた自然に親しむ訪問客の拡大に取り組んでいます。

自然環境の保護

森吉山への登山やトレッキングなどの訪問客が増えています。ゴミの投げ捨てや高山植物の踏みつけ、歩道の崩壊など新たな問題も生まれています。

このため自然環境の保護を目的として、平成14年度は山の案内人と自然公園ボランティアの養成講座を開きました。

森吉山の魅力を多くの方に

今年度は、山でのルール、マナーを記載したガイドブックの作成や自然保護団体・観光業者・山の案内人などによるフォーラムの開催などを行います。

地域企画課の齋藤寿幸さんは、「森吉

山は、花の百名山のひとつに数えられているほか、ブナをはじめとする樹木などの緑豊かな『森林空間』に加え、三階の滝、桃洞の滝などの清く澄んだ『水空間』を併せて楽しむことができます。山の案内人やマイカーの回送サービス、定期観光バスなどもありますので、1年を通じて多くの方に豊かな自然を楽しんでほしいですね」と話していました。



森吉山現地研修 (H14)

お問い合わせ 北秋田地域振興局 地域企画課 TEL0186(62)1251

雄勝地域振興局
雄湯郷からの
情報発信と観光振興

湯沢雄勝地域は、岩手、宮城、山形の3県に接する秋田県の南の玄関口に位置し、栗駒山などの雄大な自然や伝統行事、特色ある地場産業、温泉地など、多彩な観光資源に恵まれています。雄勝地域振興局は、これらの資源を情報発信することで観光振興に結びつけようとしています。

おもてなしの心で

平成14年度は、独自に作成した「おもてなしの手引き書」を使い、旅行代理店から専門的な助言や指導を受けながら、観光客に対する「おもてなしの心」をテーマにした研修会を開きました。また、小安峡温泉や秋の宮温泉郷との情報交換会、さらには住民サミットなどを行いました。

知名度アップで誘客の拡大を

今年度は湯沢雄勝地域の愛称である「雄湯郷(ユートピア)」の知名度を高め、

誘客効果を上げるため、地域の情報発信に力を入れる計画です。

「雄湯郷」のシンボルマーク・ステッカーを作成するとともに、地域の宿泊施設を対象にホームページ作成の個別講習を行い、インターネットを活用した情報発信と宿泊客の拡大を応援しています。

地域企画課の田村修平さんは、「これらの事業を通じて「雄湯郷」が全国に知れわたり、観光客がたくさん来て、地域が大いに潤ってくれるといいですね」と話していました。



1対1のホームページ作成講習

お問い合わせ 雄勝地域振興局 地域企画課 TEL0183(73)191

地震など大規模な災害への
備えは十分ですか？

9月1日は「防災の日」です

秋田県内で83人の尊い命を奪った「日本海中部地震」からちょうど20年目にあたる今年5月26日に、宮城県沖を震源とする大きな地震があり、本県でも最大で震度5強を記録しました。また、7月には再び宮城県で大きな地震があり、深刻な被害をもたらすなど、多くの県民の皆さんは地震の怖さを再認識したのだと思います。

「防災の日」を契機に、日ごろからの防災対策の大切さをみんなで確認し合い、災害への備えを万全にしておきたいものです。

～大規模な災害の教訓を学ぼう～

昭和58年の「日本海中部地震」や、6,300人を超える方が犠牲になった平成7年の「阪神・淡路大震災」は、災害による被害を防ぐための貴重な教訓を残しています。

教訓1 **安全を過信しない**
わが家の耐震性や家の周囲の安全度をチェックしてみましょう。

教訓2 **逃げ場となる空間を確保する**
家具の配置を工夫し、家の中に安全なスペースをつくりましょう。

教訓3 **家具の転倒・落下を防ごう**
普段から、家具などはしっかり固定しておきましょう。



教訓4 **地域の人とのふれあいを大事にしよう**
近隣の人と積極的に交流し、地域ぐるみの防災活動を重視しましょう。

教訓5 **日ごろの備えを万全にしよう**
イザというときに備えて、家庭や職場に非常持ち出し品を準備しておきましょう。



教訓6 **海沿いで強い揺れを感じたら津波を警戒**
津波は一気に襲ってきます。海沿いで強い揺れを感じたら早めに高台に避難しましょう。



また、台風や豪雨は、地震と違って、襲来時期や規模をある程度予測することができます。普段からラジオやテレビなどの気象情報に十分注意しましょう。

～グラッとくる前の心構え～

大地震などの天災はいつ襲ってくるかわかりません。そんな時あわてないように、家庭内で普段からよく話し合っておくことが大事です。

家族で話し合いたい5つのテーマ

災害時の、家族一人ひとりの役割分担

家の内外の危険箇所のチェック

家具の安全な配置と転倒防止対策

非常持ち出し品のチェックと使用期限のあるものの入れ替え、補充

災害時の連絡方法や避難場所の確認

また、各市町村や町内会、消防署などが主催して地域内で行っている「防災訓練」に参加して、防災に関する知識や避難方法を身につけることも大事です。

～県の防災体制～

震度6弱以上で災害対策本部、震度5弱以上で災害対策部、また震度4以上では災害警戒部を設置し、各市町村などと連携して機敏に対応することにしています。



今年5月に行われた総合防災訓練(能代市)

お問い合わせ

県総合防災課 TEL018(860)4564

ホームページ

<http://www.pref.akita.jp/syobo/bousai/bousai1.html>

第3回 エコ&リサイクル フェスティバルが 開催されます

大人と子どもと一緒に楽しめる「エコロジー」と「リサイクル」のお祭りです。企業の出展や縁日コーナー、アトラクションなどのさまざまな催しものが目白押しです。ご家族連れでぜひお越しください。楽しみながら身近な「環境」について考えてみませんか！

開催日 9月27日(土)・28日(日)

場 所 秋田駅前アゴラ広場、大屋根広場

お問い合わせ 県環境あきたアクションチーム

TEL018(860)1572、1573

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/bika/>



昨年の親子ソーラーカー工作教室

情報のひろば

募集

知事と語ろう「とことんトーク」

地域づくりなどを知事と直接語り合う「とことんトーク」の参加者を募集します。

日程・会場 (すべて14:30~16:30)

10月16日(木) 増田町(平鹿地域)

10月21日(火) 雄勝町(雄勝地域)

10月30日(木) 仙北町(仙北地域)

11月18日(火) 琴丘町(山本地域)

定員 各会場10人(多数の場合は抽選)

申込期間 開催日の2週間前まで

① 平鹿地域振興局 TEL0182(32)0594

雄勝地域振興局 TEL0183(73)8191

仙北地域振興局 TEL0187(63)6223

山本地域振興局 TEL0185(52)6285

「国際教養大学」の事務職員を募集

募集人数 7人程度

受験資格 英語による業務遂行が可能な方。職種によっては一定の職務経験が必要です。

募集締切 9月19日(金)

詳しくはホームページをご覧ください。
直接問い合わせください。

① 国際教養大学設置準備事務局

TEL018(860)5451

HP <http://www.pref.akita.jp/gakujutu/kokusai.html>

県立総合プール

「初心者水泳教室」の参加者募集

コース名 第2回「夜コース」

日程 10月23日、27日、30日、

11月6日、10日、13日。(全6回)

時間 18:30~20:00

対象・定員 中学生以上・30人

申込 9月13日(土)より電話受付開始

参加料 3,000円(入場料、保険料含む)

① 県立総合プール TEL018(895)5056

お知らせ

「不正軽油一掃作戦」実施中!

県では、軽油引取税の脱税行為につながる不正軽油を県内から一掃するため「不正軽油一掃作戦」を実施中です。特に10月を「不正軽油一掃強調月間」とし、走行中の

車両などを対象に燃料の抜取調査を行いますので、県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。また、不正軽油などの情報がありましたらご連絡をお願いします。

① 県税務課 TEL018(860)1124

「休日・夜間納税相談窓口」を設置します

各地域振興局に、「休日・夜間納税相談窓口」を設置します。平日や日中来庁できない方は、ぜひこの機会を利用してください。設置日は次のとおりです。

休日納税相談窓口 9月28日(日)

8:30~17:00

夜間納税相談窓口 10月3日(金)

20:00まで

① 最寄りの地域振興局県税課(部)

～急がずにマナーとゆとりで交通安全～ 「秋の全国交通安全運動」が行われます

期間 9月21日(日)~30日(火)

重点項目

高齢者の交通事故防止、特に薄暮時における歩行中の事故防止

シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

飲酒運転の徹底追放

「秋田県中央集会」を開催します。

日時 9月21日(日)9:30~

会場 秋田駅前アゴラ広場

① 県民文化政策課 TEL018(860)1543

平成15年度ボランティア・市民活動支援助成金の申請受付中

仲間と学習会や研修会を開きたい、パンフレットを作って仲間の輪を広げたい、活動に必要な器材を購入したいなど、皆さんのボランティア・NPO活動を支援します。

受付期間 9月30日(火)まで

助成対象 10月から来年2月までの活動

① 最寄りの地域振興局地域企画課

終戦当時の引揚者の方々へ

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

終戦後、海外から引き揚げて来られた方が、上陸港(地)の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

海外の集結地で領事館などに預けられた通貨・証券のうち日本に送り返されたもの

返還の申し出は、ご本人だけでなく、ご家族の方もできます。お心当たりの方は、上陸港(地)を管轄する税関または最寄りの税関までお問い合わせください。

① 秋田船川税関支署 TEL018(845)0735

年金から特別徴収される介護保険料について

～秋田社会保険事務局から～

年金から特別徴収される介護保険料の金額は、10月の年金支払い時に送付される「年金振込通知書」で確認してください。

また、介護保険料の額や介護保険に関するご相談は、各市町村の担当窓口へお問い合わせください。

イベント

「動物愛護フェスティバル 2003あきた」が開かれます

動物愛護週間にちなんだ、ご家族みんなで楽しめるイベントです。

日時 9月23日(祝)10:00~

場所 大森山動物園(中学生以下無料)

内容 クイズラリー大会、動物ふれあい教室、親子で描こうストーン・ペインティング、絵画展、親子で挑戦アートパルンなど

① 県生活衛生課 TEL018(860)1593

「あきた県南麺まつり」開催!

人気の横手焼きそばなど、県南地域の伝統の麺、新しい麺が大集合! 麺の食べ比べのほか、職人による麺づくりの実演、麺打ち体験なども楽しめますよ。

日時 9月27日(土)・28日(日)

午前10時~午後4時

場所 秋田ふるさと村(横手市)

① 平鹿地域振興局 TEL0182(32)0596

調査

住宅・土地統計調査にご協力を

10月1日、県内の約4万世帯を対象に、5年に1度の住宅・土地統計調査が行われます。この調査は、住宅・土地に関する最も大規模で基本的な調査です。知事が任命した調査員がお宅に伺いますのでご協力をお願いします。

① 県統計課 TEL018(860)1258

法人の土地基本調査にご協力を

9~10月に土地基本調査が行われます。この調査は、全国の法人の土地や建物の所有状況、利用状況を調査するもので、その結果は統計資料として公表し、行政利用はもとより、学術・研究機関、企業などでも幅広く活用されます。

調査対象法人の皆様には、9月中・下旬に調査票が郵送されますので、10月31日までにご回答ください。

① 県建設管理課 TEL018(860)2423

☐ テレビ

こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00~11:15
 9月 7日 活力ある地域を目指して
 ~地域づくり団体全国大会~
 14日 楽しく真剣に、障害者のスポーツ大会
 21日 環境にやさしいクリーンエネルギー
 28日 産学官連携で元気な秋田を

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00
 9月 1日 よみがえる鎌足和紙
 ~唐辛子入り!~
 8日 秋田県発の健康マイタケ粉末
 15日 秋田らしい観光PR衣装を
 22日 二湖二コ号で秋を満喫
 (29日は番組をお休みします。)

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45
 9月 6日 われら「内陸線サポーター」
 13日 給食まるごと地産地消!
 20日 楽しくエコ&リサイクル
 27日 お父さんも子育て参加

📻 ラジオ

県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50
 モーニングスマイル
 エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55



広報の窓

あんな声こんな声



タバコの吸い殻や空き缶が捨てられ、犬のふんが放置されているのを県内あちこちで見かけます。どうにかして、これをなくすことはできないでしょうか。(「知事への手紙」より)



ルールを守らない一部の人のために、美しい郷土の環境が損なわれることは、とても残念なことです。

県では、美しいふるさと秋田を築くために「秋田県空き缶等の散乱の防止に関する条例(通称:ポイ捨て禁止条例)」を平成13年4月から施行し、空き缶などのポイ捨てを禁止するとともに、県民や事業者のみなさん、市町村の協力を得ながら、ポイ捨て防止についての呼びかけやクリーンアップ活動を行っています。

今年も、5月30日の「ごみゼロの日」から

6月5日までの「空き缶等散乱防止強調週間」を中心として、県民のみなさんにポイ捨て防止についての関心と理解を深めていただくためのキャンペーンなどを行っています。

また、4月の第2日曜日を「あきた・ビューティフル・サンデー」とし、県民総ぐるみのクリーンアップ活動を実施しています。

今後、さまざまな機会をとらえ県民のみなさんと一体となった活動を実施し、ポイ捨て防止に努めていきます。

☎️県環境整備課 TEL018(860)1598

フリーダイヤルでお気軽に

0120-229079 県民行政相談室

県民行政相談員が、県政に対するあなたの自身の利害にかかわる苦情を公正中立の立場で調査します。

相談日時 火・水・木・金の午前10時~午後4時(フリーダイヤルは平日の午前8時30分から午後5時15分までご利用できます)

受付場所 県民行政相談室(県庁1階)
 電話 フリーダイヤル0120-229079(携帯電話からは018(860)1082,1083をご利用ください)

ファクス 018(860)1072
 Eメール kujyou@pref.akita.jp

春夏秋冬 こぼれ話

シリーズ54

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

徹底的に洗って干す。だから白い、男鹿のえご。



独特な磯の香りと、さっぱりした味が特徴の「えご」。えごは主に日本海側に面した地域で食べられており、新潟県では「いづえご(こねり)」、福岡県博多では「おきゅう」と呼ばれるなど、地域によって形状や呼び方が少々異なる。

県南の内陸部で育ったボクは、えごは黒っぽいものと思い込んでいたので、男鹿の白っぽいえごを見た時は驚いてしまった。この違いは原料となる海藻・エゴクサの処理の仕方にあるらしい。男鹿半島沿岸でエゴクサ採りが始まるのは七月の土用過ぎ。素潜りで採ったり、海岸に打ち上げられたものを拾い集めるがこれからは大変だという。「ところころを作るテングサは、ただ乾かせばいいけども、エゴクサはそうもいがね。ゴミ取りもあるし、白くなるまでさらさらおぼいげね」と男鹿のばあちゃんたちは言う。

採ったばかりのエゴクサは茶褐色で、磯の香りも強い。それを海水で丹念に洗ってから天日で干す。天気の良い日は洗っては干し、洗っては干

すという作業を一日に三回も繰り返す。この作業を約三日間続けると、茶褐色だったエゴクサは薄いペーシユ色に仕上がる。

「以前、少ししかさらさないエゴクサで作ってみたいけど、磯の香りが強すぎてダメ。えごはやっぱ白くなったエゴクサを使わねばだめだもんだな。」と男鹿市船川港双六地区に住む高桑ヤシ子さん言う。

沿岸部の各家庭では、この手間のかかったエゴクサを使ってえごを作るが、中には豆乳を加えるなどしてさらに白さを際立たせる家もあるとか。この白いえご、ほとんどが自家用のため店頭には並ぶことは少ないが、地元魚屋でたまに見かけることもある。

秋田市などで市販されている黒っぽいえごを食べ比べてみると、確かに磯の香りもまるやかに感じられ、上品な味がする。しかし、残念なことには地元産のエゴクサでえごを作る家庭は年々少なくなっているという。

秋田と韓国の交流を広げる情報がいっぱい

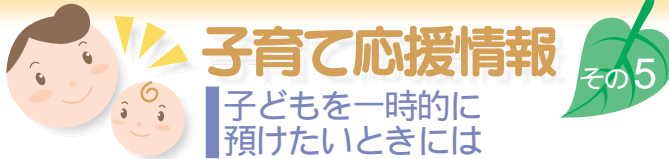
秋田からの国際便を利用したパッケージツアーや航空便の情報、秋田・韓国のイベント・グルメ・ショッピングなどの観光情報のほか、旅行で使える簡単な韓国語なども紹介しています。

また、ソウル便の利用拡大に向けて、県が行う助成事業や秋田と韓国の交流に関する情報を紹介するコーナーも設けています。

「美の国あきたネット」の「これは便利！」からアクセスできますので、どうぞご利用ください。

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/akikorea/>

お問い合わせ 県秋田・韓国交流促進チーム TEL018(860)1283



子育て応援情報

子どもを一時的に預けたいときには



仕事や病気などでお子さんの世話ができないときに、保育所や児童福祉施設などで一時的にお預りするサービスをご存じですか？

一時保育

保育所を利用していない方が、急な用事ができたときや育児疲れで気分転換をしたいときなどに、保育所で一時的にお子さんをお預かりします。(平成15年3月末現在、36市町村で実施しています。)

ショートステイ

病気やけが、出産、育児疲れなどにより、お子さんの養育が一時的にできなくなったときに、児童福祉施設や里親が短期間(原則7日以内、延長可能)お預りします。(現在、秋田市と横手市で実施しています。)

トワイライトステイ

夜間や休日に仕事などのため、お子さんの世話ができないとき、児童福祉施設でお子さんをお預かりしたり、夜の食事などを提供します。(現在、秋田市、大館市、横手市で実施しています。)

利用料を含め詳しくは、各市町村の担当課、または県子育て支援課(TEL018-860-1343)までお問い合わせください。



正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 がんや脳卒中など、不規則、不摂生な生活が積み重なって発症する病気の名前は何でしょう。(P2参照)

- (1) 生活習慣病
- (2) 成人病
- (3) 不規則生活病

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは9月25日(消印有効)ハガキ、ファクス(018-860-1072)Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

7月号の正解は(2)でした。応募443通、うち正解442通の中から抽選で次の方々が当選されました。

佐藤早苗さん(鹿角市) 金井具大さん(鷹巣町) 伊藤明美さん(八竜町) 佐藤正さん(井川町) 高橋聡子さん、高田美穂子さん、佐藤俊彦さん(以上、秋田市) 伊藤とみ子さん(西木村) 鎌田清貴さん(横手市) 高橋ヤスさん(雄物川町)

編集部から

秋風が吹きはじめ、日を追うごとに涼しさを増す9月。スポーツを楽しむには、最高の季節が到来しました。体を動かすことは、健康づくりへの第一歩。皆さんも、ジョギングや散歩など身近な運動からはじめてみませんか。宮城県沖で地震が続き、建物の倒壊や交通機関のマヒなど、改めて地震の怖さを感じ知らされました。地震に対する日ごろからの心構えや備えの大切さを痛感しているところです。

游学

さんぽみち

県立近代美術館

横手市赤坂 TEL018(33)855

移動展「美術館がやってきた(大館市)」

大館市では2回目となる移動展。絵画、彫刻、工芸、版画など、えりすぐりの名品39点を展示します。観覧無料です。



小野田直武「霧景図」

日時 9月20日(土)～28日(日)
午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
会場 大館郷土博物館(大館市)
TEL0186(48)2119

県立農業科学館

大曲市内小友 TEL018(68)2300

企画展

「カラフルコスモス展」



秋を感じてみませんか？

ピンク、赤、白など、さまざまな色と品種のコスモスを多数展示します。
日時 9月17日(水)～10月13日(月)
午前9時30分～午後4時30分
入館料 無料

県生涯学習センター

秋田市山王 TEL018(865)1171

アクティブパパ交流事業

「父親の子育てワークショップ&ファミリーミーティング」

お父さんたちの子育て交流会、子どもたちの「滝めぐり」ウォーキング、親子での栗拾いなど、楽しいメニューがいっぱいです。

日時 10月12日(日)
午前9時30分～午後2時30分
会場 藤里町営スキー場ロッジ付近
募集人数 親子50組(幼稚園児から中学生程度まで)
募集締切 10月7日(火)
参加料 1人300円
昼食、長靴、雨具、栗を入れる袋をご用意ください。

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。



県人口 1,168,191人 (-232)
男 553,040人 (-136)
女 615,151人 (-96)
世帯数 396,032世帯(+126)

(平成15年7月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)



古紙配合率100%再生紙を使用しています